



第42期第2四半期決算概況

(平成23年12月期第2四半期決算短信・補足資料)

株式会社 ニッセンホールディングス
2011年7月25日

CONTENTS

- 1) 第42期 第2四半期決算概況
- 2) 通販事業及びその他グループ事業の概況
- 3) トピックス

1) 第42期 第2四半期決算概況

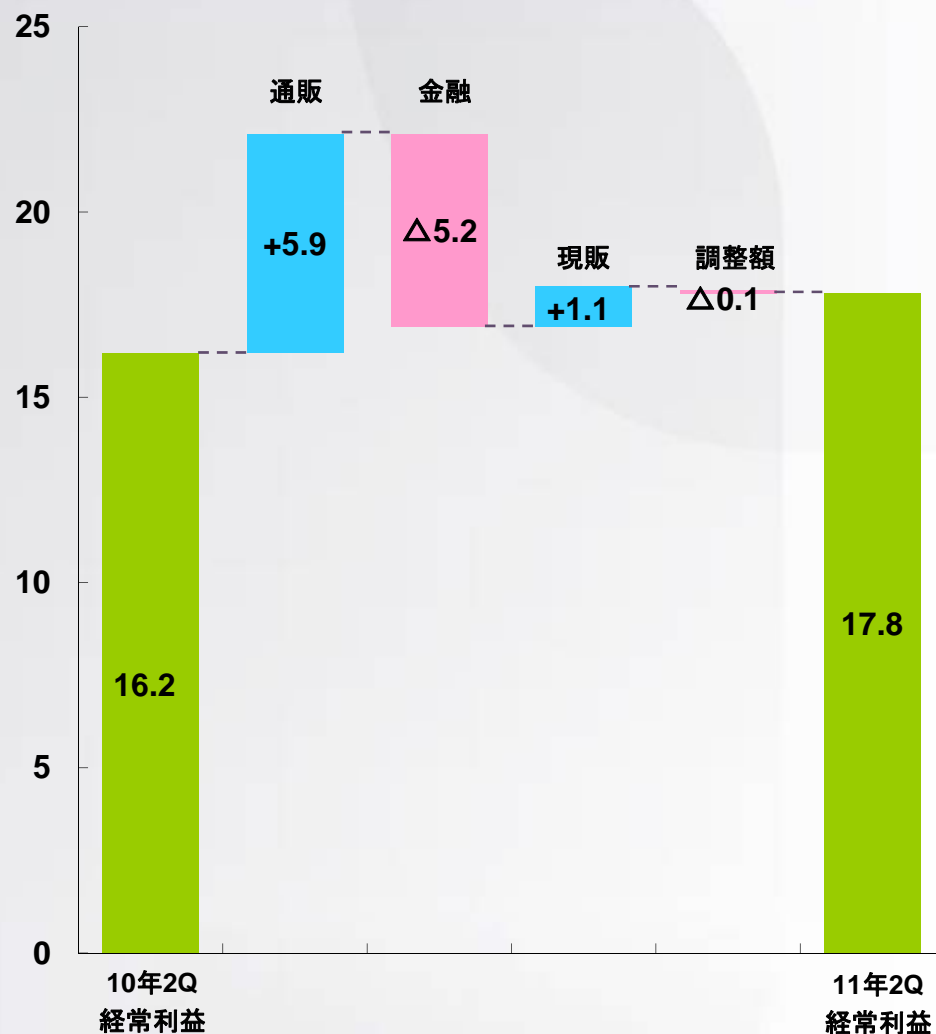
(単位:億円)

	11年第2Q累計実績		10年第2Q累計実績		増減額	前年対比
		売上比		売上比		
売上高	693.5	—	681.7	—	+11.8	+1.7%
営業利益	16.3	2.4%	12.7	1.9%	+3.6	+27.4%
経常利益	17.8	2.6%	16.2	2.4%	+1.6	+9.8%
当期純利益	12.1	1.7%	14.9	2.2%	△2.8	△18.9%
1株当り当期純利益 (円)	23.86		29.42			

- ✓ 売上高は主力の通販事業において、戦略的な価格設定により家具・インテリア商品が牽引し、震災による影響があったものの、前年同期から11.8億円の増収。
- ✓ 営業利益は、通販事業の円高による原価率改善などにより、前年同期から3.6億円の増益。
- ✓ 当期純利益は、資産除去債務(1.6億円)、震災関連コスト※(2.9億円)などを計上。
※設備損害・移転費用、営業休止期間中の固定費など直接的な損失を0.7億円、救援物資・義援金・被災地域のお客様向けニッセン買物券進呈など被災地支援費用を2.2億円計上しております。

前年対比増減

(単位:億円)



【前年対比増減要因】

●通販事業

- ✓ ネット限定商品のラインアップ強化、サイトのユーザビリティ向上などを行うことで、ネットを中心に新規顧客獲得数が前年より増加。
- ✓ SPAIによる価格競争力と商品・サービス機能強化を軸とした戦略的な価格設定のもと、家具・インテリア商品が牽引し、増収。
- ✓ 増収による利益増に加えて、円高による原価率改善など、前年より大幅な増益。

●金融事業

- ✓ 保険代理店事業は、新規顧客獲得のための積極投資を実施したものの、震災の影響もあり、前年より利益が減少。
- ✓ クレジット事業において、改正貸金業法完全施行による市場規模の縮小のなか、貸付取扱高が減少、また、震災関連コストを計上したため、前年より持分利益は減少。

●現販事業

- ✓ 宝飾貴金属のマーケット環境が厳しい中、営業開拓や販売促進策により、対前年で同水準の売上を維持、営業利益ではコスト管理を強化することにより黒字を達成。

(単位:億円)

		11年第2Q累計実績		10年第2Q累計実績		増減額	前年対比
			売上比		売上比		
通販事業	売上高	662.9	—	649.7	—	+13.2	+2.0%
	営業利益	18.8	2.8%	12.8	2.0%	+6.0	+46.7%
	経常利益	22.3	3.4%	16.4	2.5%	+5.9	+36.0%
金融事業	売上高	9.0	—	10.2	—	△1.2	△11.0%
	営業利益	0.1	1.8%	3.5	34.3%	△3.4	△95.4%
	経常利益	△0.9	△10.6%	4.3	42.2%	△5.2	—
現販事業	売上高	23.4	—	23.3	—	+0.1	+0.6%
	営業利益	0.0	0.3%	△1.3	△5.6%	+1.3	—
	経常利益	△0.1	△0.8%	△1.2	△5.2%	+1.1	—
調整額	売上高	△1.9	—	△1.5	—	△0.4	—
	営業利益	△2.7	—	△2.3	—	△0.4	—
	経常利益	△3.3	—	△3.2	—	△0.1	—

・調整額は、セグメント間取引消去及び純粋持株会社として必要な運営コストを含めております。
 ・各事業の実績は、2011年度第1四半期からのセグメント情報等の開示に関する会計基準に組替。

(単位: 億円)

	11年第2Q	10年期末	増減	主な前期末比増減内容
流動資産	475.1	463.1	+12.0	現金預金△24.6、受取手形及び売掛金+20.0、たな卸資産+9.0、前払費用+13.5、未収入金△7.5
固定資産	265.3	140.9	+124.4	有形固定資産+134.8、無形固定資産+9.0、投資有価証券△19.4
資産合計	740.5	604.0	+136.5	
流動負債	359.0	312.2	+46.8	支払手形・買掛金+13.9、短期借入金+9.9、未払金+6.6、未払費用+5.8、リース債務+1.5
固定負債	132.7	52.2	+80.5	長期借入金+72.7、長期リース債務+5.1
負債合計	491.7	364.5	+127.2	
株主資本	250.8	241.4	+9.4	上期利益+12.1、第41期期末配当△2.5
評価・換算差額等	△2.0	△1.9	△0.1	
純資産合計	248.7	239.5	+9.2	
負債純資産合計	740.5	604.0	+136.5	

- ✓ 物流関連会社の完全子会社化に伴い、固定資産と借入金が増加。
- ✓ 売上増加傾向を受けて売上債権や在庫などが一時的に膨らむ。

(単位: 億円)

	11年第2Q	11年第2Qの主な内容	10年第2Q
営業活動による キャッシュフロー	6.6	税引前利益 +12.5 減価償却費 +3.8 売上債権の増加 Δ 14.7 棚卸資産の増加 Δ 9.2 仕入債務の増加 +13.3	44.4
投資活動による キャッシュフロー	Δ 110.0	固定資産の取得による支出 Δ 2.5 物流完全子会社化による支出 ※ Δ 107.8	Δ 2.1
財務活動による キャッシュフロー	78.7	長期借入による収入 +95.0 長期借入の返済による支出 Δ 12.3 リース債務の返済による支出 Δ 1.3 配当金の支払 Δ 2.5	Δ 17.7
現金及現金同等物の 期末残高	43.9		77.3

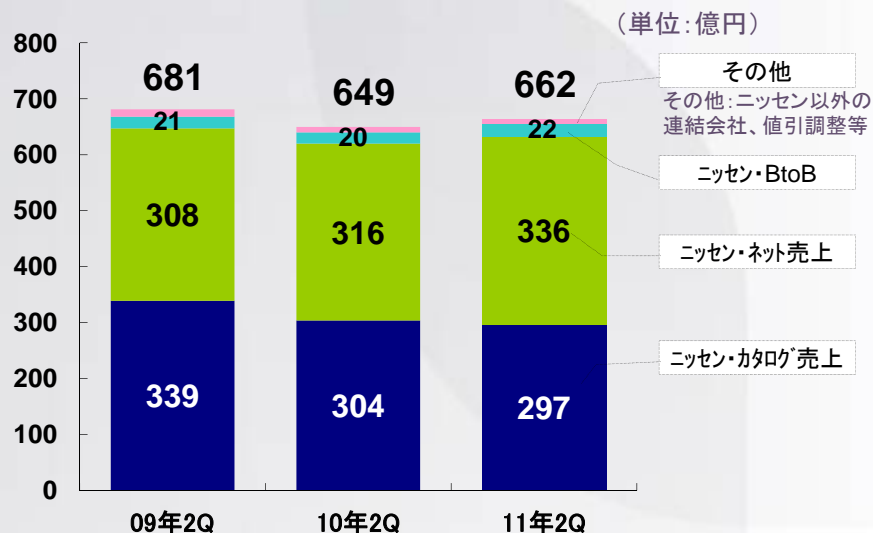
※決算短信上は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出と貸付による支出に区分して表示。

- ✓ 営業CFは、一時的な在庫増・ボーナス払い債権増などにより、前年同期比減少。
- ✓ 調達した資金を物流会社の完全子会社化に投下。

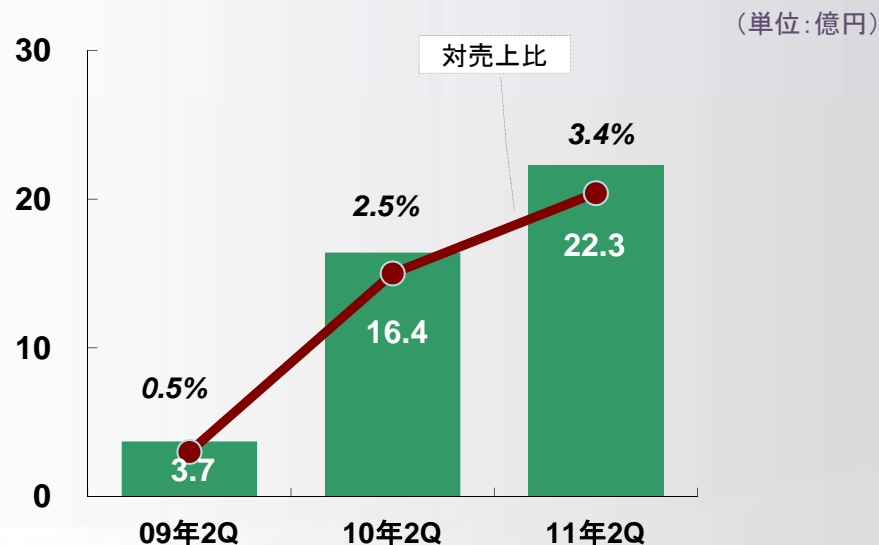
2) 通販事業及び その他グループ事業の概況

セグメント別業績振り返り(通販事業)

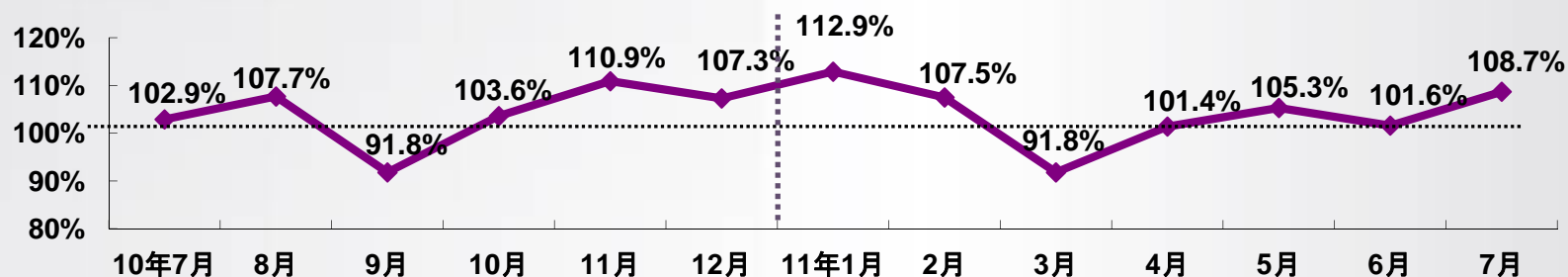
● 売上高推移



● 経常利益推移 (※09年は11年実績基準にて新セグメントに変換)

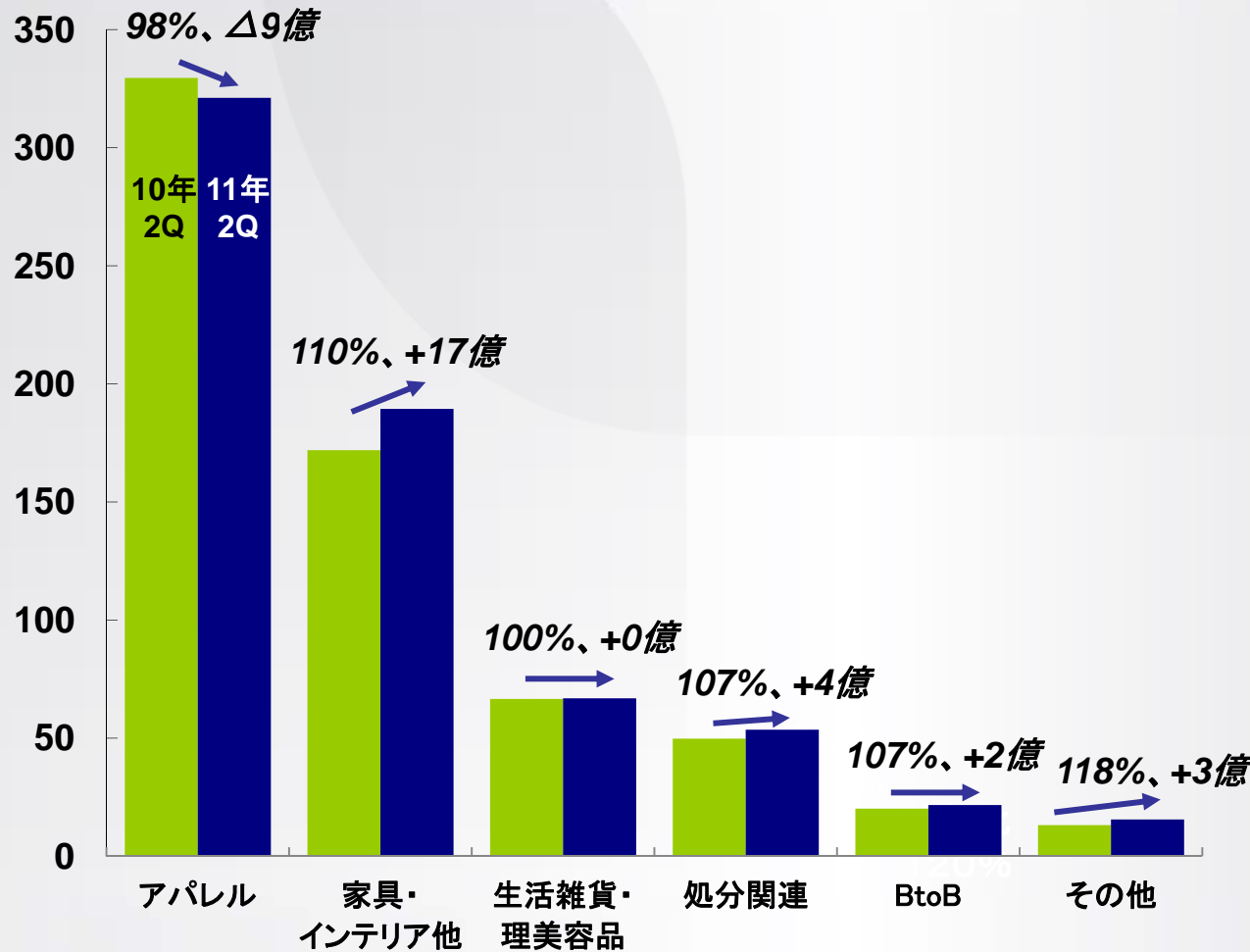


● 月次売上前年対比推移 (株ニッセン ※2009年12月21日付で吸収合併を行った株ニッセンプレミアムの店舗販売事業は除く。)

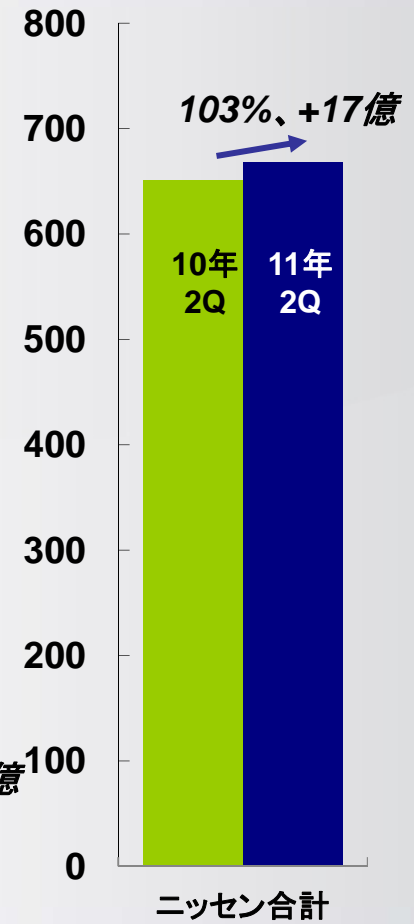


- ・通販事業は、(株)ニッセン、(株)暮らしのデザイン、(株)nビューティサイエンスおよび(株)通販物流サービスの持分法投資利益で構成
- ・(株)通販物流サービスは、2011年度第2四半期において、株式の追加取得により、持分法適用関連会社から連結子会社へ移行
- ・2009年12月21日付のニッセンプレミアムのニッセンへの統合により、ニッセンプレミアム(和装・ジュエリーカタログ、祇園屋)の業績は、2009年度は現販事業に、2010年度は通販事業に包含

(単位:億円)

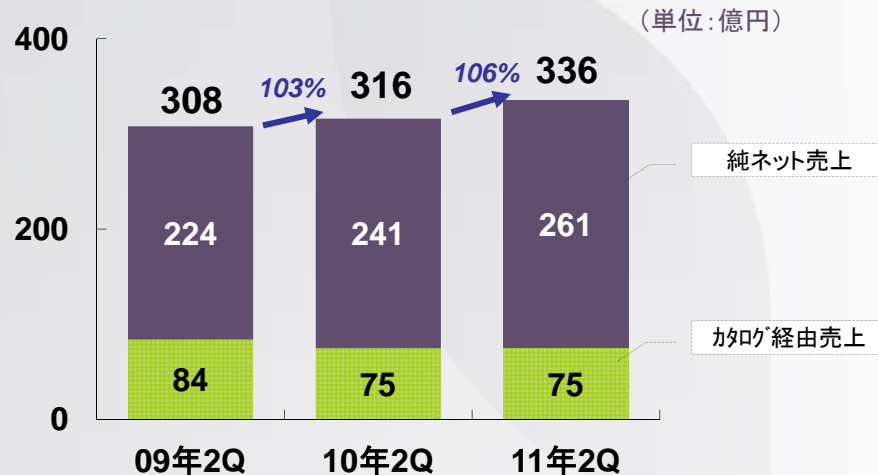


(単位:億円)

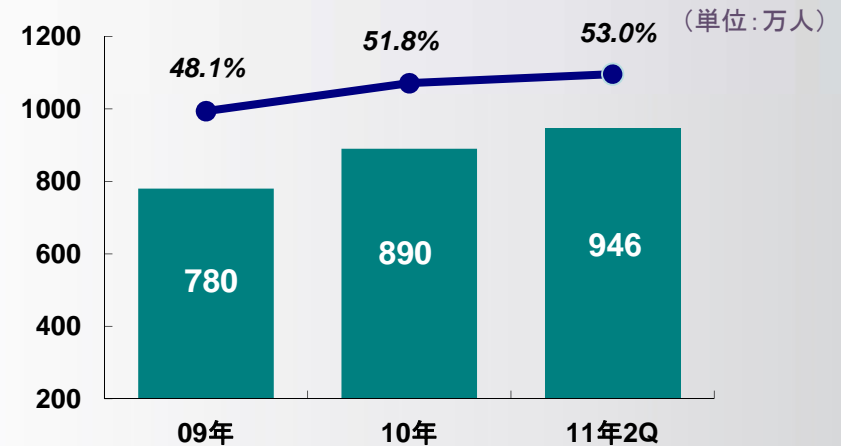


※各カテゴリー別売上高は、値引考慮前の総売上高で算出。

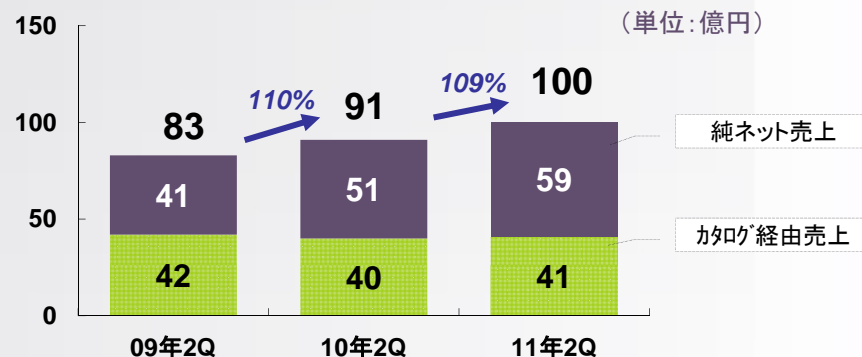
● インターネット経由の売上高(モバイル経由を含む)



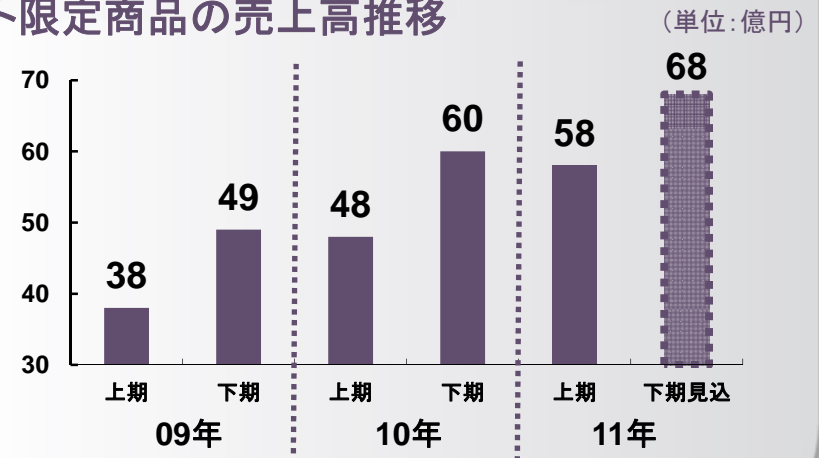
● インターネット会員数、売上シェア(カタログ売上対比)



● 内、モバイル経由の売上高(スマートフォンを含む)



● ネット限定商品の売上高推移



※純ネット売上は、インターネットカート経由の売上
※カタログ経由売上は、カタログ申込番号のインターネット入力による売上

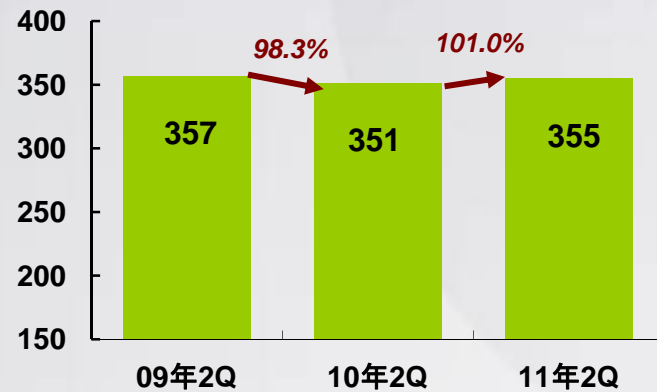
- ✓ ネット売上は、ネット限定商品が牽引し、堅調に推移。
- ✓ 新規獲得・カタログ会員からの移行など、ネット会員数が順調に増加。

(株)ニッセンの稼働客数および単価の状況

● 稼働客数(受注)

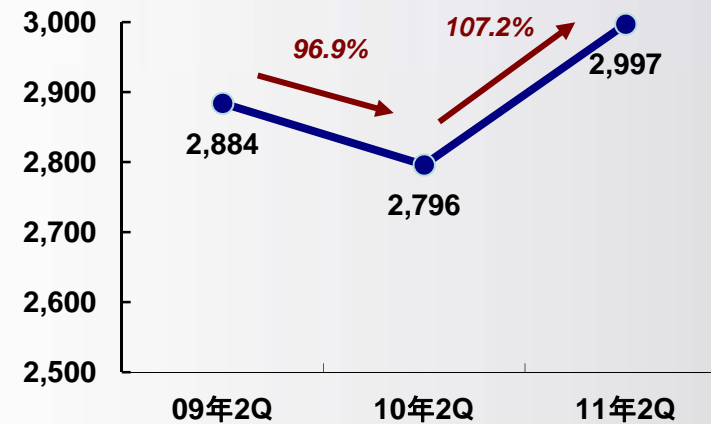
(6ヶ月の受注顧客人数)

(単位:万人)



● 商品単価

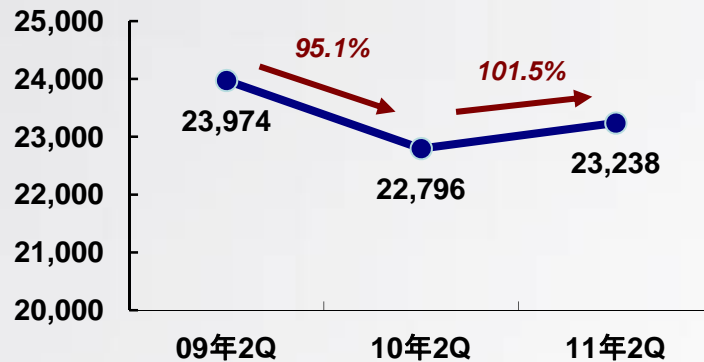
(単位:円)



● 稼働単価(受注)

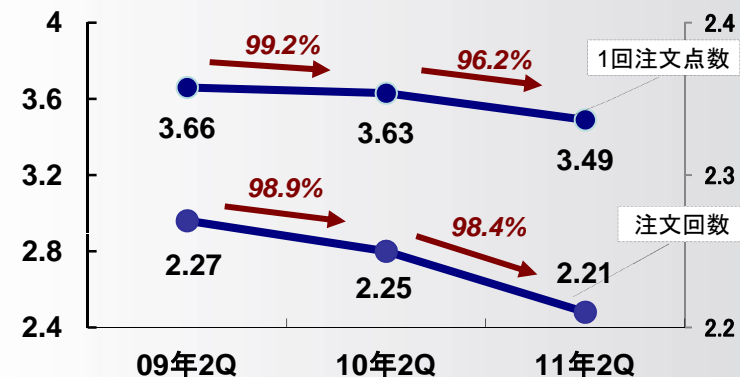
(1人当たり受注累計金額)

(単位:円)



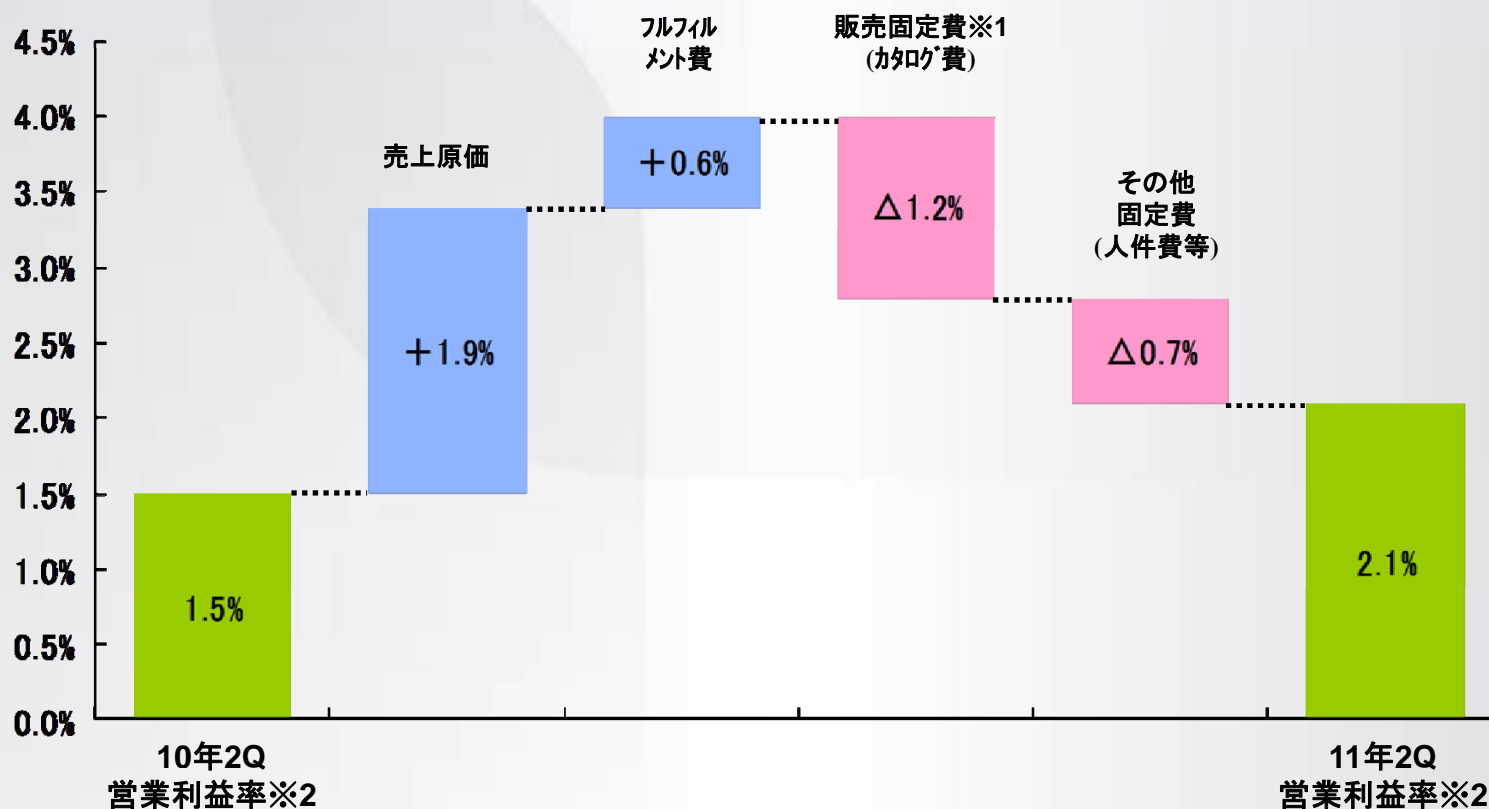
● 1回注文点数/注文回数

(単位:点/回)



- ✓ ネットを中心とした新規顧客獲得などにより、稼働客数は前年を上回る。
- ✓ 家具・インテリア商品の売上シェア増加などにより、大きく商品単価が改善。

● 営業利益率の前年比較と変動要素



※1: 販売固定費はカタログ費用と顧客獲得コストを含む。

※2: 営業利益率については、前年同等比較のため、旧現販事業部門及び各社に按分している連結消去又は全社費用等を除外した事業損益ベースで算出。

■ 戦略商品の投入

- 既存商品の機能を更に進化
- お客様の利便性を追求
- 価格以上の価値

従来のチノパンツの概念を覆す“SLEEK CHINO”



■ 新デバイスへの対応

- ネット用スマートカタログ企画展開

360° KARINA'S COLLECTION



■ 顧客基盤の拡大

- 新顧客セグメント対象に3カタログを創刊



■ ネットとリアル融合

- 関東初の出店

スマイルランド フレルさぎ沼店



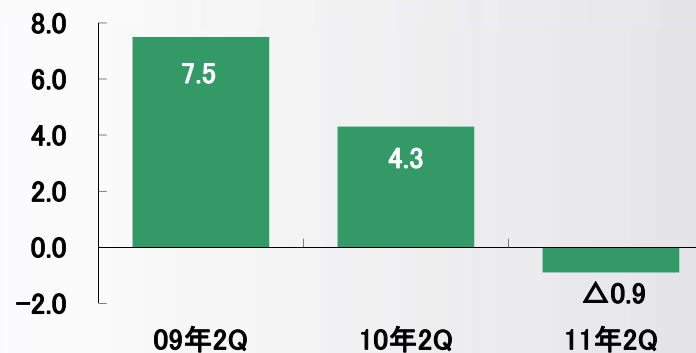
(単位:億円)

■ 金融事業セグメントの売上・利益の状況

● 2Q売上高推移



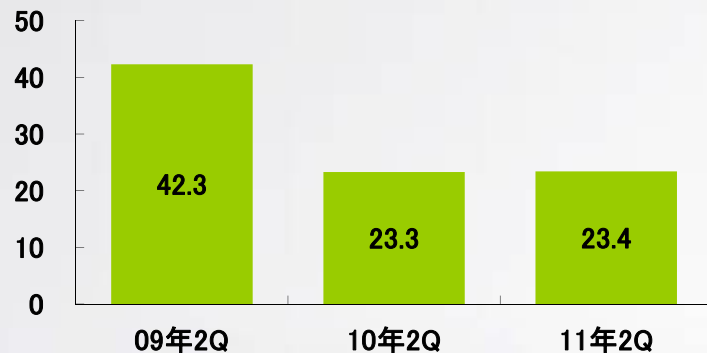
● 2Q経常利益推移



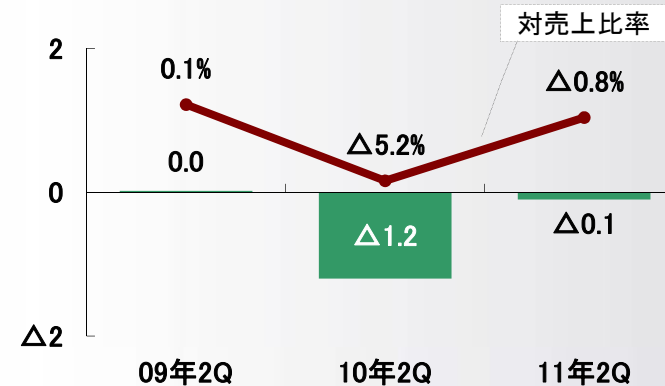
・金融事業は、nインシュアランスサービス(株) およびニッセン・ジー・イー・クレジット(株)の持分法投資損益で構成
 ・ニッセン・ジー・イー・クレジット(株)は当社の持分連結会社であり、当期利益の50%の計上

■ 現販事業セグメントの売上・利益の状況

● 2Q売上高推移



● 2Q経常利益推移



・現販事業は、(株)オリエンタルダイヤモンド、(株)トレセンテ、(株)ニッセンシェイプファンデ等で構成
 ・2009年12月21日付のニッセンプレミアムのニッセンへの統合により、ニッセンプレミアム(和装・ジュエリーカタログ、祇園屋)の業績は、2009年度は現販事業に、2010年度は通販事業に包含

3) トピックス

- 株式取得により持分法適用会社を完全連結子会社化(出資比率:49.5%→100.0%)

完全連結子会社化の目的

サプライチェーンの全体最適化を目指した通販事業の構造改革実現に向け、物流インフラ投資等の経営意思決定の迅速化を行い、当社グループの中長期的な企業競争力の強化を図る

「通販事業成長支援物流機能会社」としてのミッション

業務効率改善 × 品質向上 × サービスレベル向上

通販事業モデルの“磨き上げ”

グループ企業間でのシナジーを発揮し、顧客への提供価値を向上させ、収益モデルの構造改革とグループ力を活用した成長を図る

- 前連結会計年度において、通販物流サービスとの内部取引の消去を考慮し、貸借対照表及び損益計算書をそれぞれ単純に合算した場合の主要な数値は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	第41期 当社連結主要数値	第41期 通販物流サービス 合算後主要数値	差異
総資産合計	60,407	71,688	11,281
負債合計	36,452	47,733	11,281
連結売上高	137,392	136,834	△558
連結営業利益	3,196	4,146	949
連結経常利益	2,846	3,454	608
連結当期純利益	3,001	3,263	261

※詳細は以下のインターネットサイトを参照

ニッセンHDインフォサイト http://www.nissen.info/ir/pdf/IR_11_04_21_1.pdf

■ 幹部社員を対象に、企業価値向上へのインセンティブを付与

- 役員を対象とはせず、若手中堅をはじめとした幹部社員を対象
- 株式コスト(期待収益率)に基づく下限株価行使条件を設定
- 社員に株価を意識した事業運営を浸透

■ 希薄化は、発行済み株数に対して1%未満と軽微

- 増加潜在株数は、614千株(発行済み株数 63,416千株)

※詳細は以下のインターネットサイトを参照

ニッセンHDインフォサイト http://www.nissen.info/ir/pdf/IR_11_06_03_1.pdf

http://www.nissen.info/ir/pdf/IR_11_06_20_1.pdf

■ 被災地への義援金

- グループ会社内での取り組み
 - ✓ ニッセンホールディングスで震災発生翌日に義援金の拠出を決定
 - ✓ ニッセングループ社員からの義援金募集

■ 被災地へのニッセン商品の提供

- 緊急支援物資
 - ✓ 震災発生2日後に搬出、3月14日には支援物資が被災地に到着
 - ✓ 衣類・下着・布団など、約4万点を提供
- ニッセンお買物券の配布
 - ✓ 被災地域のニッセン会員皆様へカタログと同時に2,000円のお買物券を配布

■ ハチドリのひとつづくプロジェクト

- 総額5千万を『ニッセン会員の皆様』名義で義援金の拠出を決定
- チャリティTシャツの販売、その売上の全額を寄付することを決定

- 「子供たちに希望と未来を！」の方針の元、引き続き企業支援活動に積極的に取り組んで参ります。

※支援活動の一例として、ニッセンのお客様からのメッセージを文集した「ハチドリのひとつづく文庫」

